

中札内村総合行政推進委員会 第4回委員会 会議録

日 時 令和3年3月25日（木） 19:00～19:40
場 所 中札内村農村環境改善センター 2階大集会室
出席委員 五十嵐真也、山口公雄、桑田尚行、奥井千英子、島田浩幸、杉本啓子、丹野 優、
佐藤裕二、嶋崎直子、神山大知、林 雄司、下埜智加、鳥倉華以、間船信子、
二宮多恵、鎌田 修（16名）
欠席委員 菅野貴赦、瀬川 亮（2名）
事 務 局 総務課長 川尻年和、総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主査 竹村幸二

議 事

（開 会） 19:00

（川尻課長） それでは、ご案内の時間になりましたので、会議を開催させていただきます。
本日はお忙しい中、総合行政推進委員会に出席いただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

本日の会議は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の年に1度の検証と次期まち
づくり計画策定に向けてご意見をいただきたいと思います。

それでは、五十嵐会長からご挨拶をお願いいたします。

（会 長） こんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ま
た前回の会議では活発な意見をいただき感謝いたします。本日は、事務局からの
説明を受けた後、意見をいただくことになります。みなさんの協力を得ながら進
めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（川尻課長） それではこれより議事に入っていきたいと思いますが、以降の進行については、
会長で進めさせていただきます。

（会 長） それでは、議事に入らせていただきます。

協議事項の中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略の変更と前期の実績、地
方創生推進交付金事業の実績について、関連がありますので一括して事務局から
説明をお願いします。

（渡辺補佐） はじめに、総合戦略についてどういうものかご説明しますと、急速に進行する
人口減少に歯止めをかけ、地域社会を維持していくために策定したものでして、
現行のまちづくり計画の中から、人口減少対策や地方創生に関わりの深い事業を
再編し、新たな事業を加えて、村の人口減少対策としてまとめたものになります。

資料１の今年度から令和６年度までの５年間の第２期計画について、令和３年度からの取り組みで追加や修正がありますので、その部分について説明させていただきます。

（以降、順に説明）

次に、資料２は平成２７年度から令和元年度までの第１期の総合戦略の実績になりますが、令和元年度のＫＰＩの目標値に対する進捗状況についてまとめてあります。

表の左側に、それぞれの目標や指標を記載し、次が数値の欄となっております。左から、計画策定時の基準値である平成２６年度の数値、次に最終年である令和元年度の目標値、次に令和元年度の実績値を記載しており、進捗状況を○や△等で記載しております。一番右の欄は総合戦略に記載した具体的な取組でありまして、下線が引いてあるのは未実施のものになります。

進捗状況の○は目標値に達しているもので、△は基準値より伸びていますが、目標値に達していないものになり、×は、基準値を下回っているものになります。

－は、基準値から増減のないもの、又は毎年実績値が算出できないものです。

具体的な取り組みについては、概ね第２期計画の中でも引き続き実施しております。

続きまして、資料３についてご説明します。

地方創生推進交付金を活用した事業として、令和元年度から「ヘルスケアビジネス創出と政策間連携による健康なまちづくり実現事業」七色献立プロジェクトを実施しております。

大学や企業と連携した健康ポイント事業や、農協青年部や農協女性部、食育サポーターなどと連携した食育事業などを展開しています。

令和３年度まで引き続き地方創生推進交付金の採択を受けて、健康メニュー開発やウォーキングコース活用による健康ポイント事業の促進、大学等と連携して歩くことによる医療費抑制効果の分析を行っていきます。

４つのＫＰＩについては、令和２年度時点で達成済みとなっております。

次に、平成２８年度から今年度までの５年間、十勝管内１１市町村で起業を考えている方の支援を行う「十勝・イノベーション・エコシステム推進事業」を実施しております。

帯広市が中心となり、大学や金融機関などと連携しながら、起業候補者の発掘・育成、事業計画のブラッシュアップや事業化を一貫して支援しています。

３つのＫＰＩについては、今年度で概ね達成される見込みです。

（会 長） ただ今、事務局から説明がありました。

皆様から意見をいただければと思いますので、意見や質問など、発言をお願いいたします。

（委 員） ３ページの基本目標３の子どもを産み、育てやすい美しい村づくりの所ですが、ＬＧＢＴとか最近話題になっています。１番目の「男女が出合い結婚し、」という

のは違和感を覚えます。「安心して出産できる環境づくり」だけでよいのではないのでしょうか。共生の村っぽくて良いと思います。

(渡辺補佐) あくまで希望する方への支援という意味であります。また、国の上位施策に則っています。

(会長) それでは次に、次期まちづくり計画の人口推計及び計画体系について、事務局から説明をお願いします。

(渡辺補佐) 資料4は、次期まちづくり計画の人口推計資料になります。

日本における将来の人口減少は深刻な状況にあり、本村も今後は若年人口の減少と老年人口の増加を伴いながら加速度的に減少が進むと見込まれておりますが、何とかその減少幅を抑えていくよう取り組んでいく必要があります。

1ページは、村の人口ビジョンのグラフになりますが、平成22年の国勢調査データを基に平成25年に社人研が推計したのが青のグラフとなり、それに上方推計したのが本村の目指す人口推計で黄色のグラフになります。

2ページは、平成27年の国勢調査データを基に平成30年に社人研が推計し直したのが緑のグラフとなります。

本村の目指す人口推計の黄色のグラフに近くなっています。

また、赤色のグラフは平成27年と令和2年の国勢調査の結果であります。

3ページは、令和2年の国勢調査の結果から社人研の推計方法を用いて、趨勢人口を推計したのが、赤のグラフになります。

前半は、目指す人口よりも上回っていますが、後半は下回っていきます。

4ページは、平成27年から令和2年の動きが今後も続いたと見込んだ推計が青のグラフとなります。

6ページは、40年後の2060年も3,000人台維持となるよう調整したグラフになります。

庁内の策定委員会としてはこれ为目标人口推計とし、令和12年が3,778人であることから、次期まちづくり計画の最終年となる令和11年の目標人口を3,800人にしたいと考えております。

続いて、次期まちづくり計画の体系図については、現段階で考えている編成でありまして、現行計画と同様に5つの基本目標とそれぞれの具体的な施策に細分化して作成する考えであります。

今後、作業を進めていく中で、必要に応じて体系の変更や表題の見直しを行っていきます。

次回からはこれを基に作成した基本目標の内容について、ご意見をいただきたいと考えております。

(会長) ただ今、事務局から説明がありました。

皆様から意見をいただければと思いますので、意見や質問など、発言をお願いいたします。

(委 員) 他の自治体も人口は減っていくようなかたちになっているのでしょうか。

(渡辺補佐) これまでは、他の自治体も増加する目標になっていましたが、最近策定される計画では人口減少の実情に合わせて減少としています。少しでも減少する人口を抑えることを目標としています。

(会 長) 本日の協議事項は以上ですが、最後にその他ということで事務局から何かあればお願いします。

(渡辺補佐) 次回は、部会ごとに基本計画の具体的な内容について、ご意見を伺いたいと考えております。

(会 長) そのほか、委員の皆さんから何かあればお願いします。
無ければ以上をもちまして、本日の総合行政推進委員会を閉会いたします。
みなさん、おつかれさまでした。

(閉 会) 19 : 40